会　　議　　録

会 議 名	令和８年度山形市健康医療先進都市推進協議会
開催日時	令和８年９月３日(木)午後４時００分～５時００分
開催場所	山形市役所　大会議室
主　　催	山形市健康医療先進都市推進協議会
出 席 者	別紙出席者名簿のとおり
議　　題	（１）シンクタンクの研究成果について（報告） （２）「山形市健康プラン２０３５」の進捗状況について（報告） （３）令和８年度の取組予定について（協議） （４）山形市急性心筋梗塞・胃がん対策パッケージについて（協議）
資　　料	当日資料参照
傍 聴 者	一般０名　記者０名
作 成 者	健康増進課　安達

１　開会　進行　【健康増進課　課長補佐　高嶋】

２　報告　議長　【会長　佐藤　孝弘】

（１）シンクタンクの研究成果について【資料１】

資料に基づき事務局（健康増進課長）から説明。質問・意見はなし。

（２）「山形市健康プラン２０３５」の進捗状況について【資料２-１】【資料２-２】

上記（１）同様。

３　協議　議長　【会長　佐藤　孝弘】

（１）令和８年度の取組予定について【資料２-１】

資料に基づき、事務局から基本施策ごとに説明。施策ごとの質疑応答は次の通り。

① 基本施策１「ＳＵＫＳＫ生活の推進」の取組予定

【山形市医師会】

資料１６ページの禁煙及び受動喫煙に関して、小学生はコンビニの駐車場で最も受動喫煙の場面を目にしているようだ。山形市の方でもコンビニに対して駐車場の灰皿の撤去等の働きかけができないか。

(健康増進課長)

令和７年度にコンビニ大手３社の山形事業所に対し、駐車場の灰皿撤去を依頼し、各社とも対応くださっているが、特にフランチャイズ経営店舗は、オーナーの意向に左右されるため、思うように撤去が進んでいない実情がある。引き続き粘り強く働きかけを行っていく。

【山形市自治推進委員長連絡協議会】
健康寿命の延伸にＳＵＫＳＫ生活の実践、疾病等の早期発見・治療に健診が大切と感じている。当会でも機を見て周知しているが、企業や学校等に対しても広く周知していくことが大切と感じている。
（議長）
引き続き推進していく。

【全国健康保険協会　山形支部】
医療費が高額となることもあり、若いころからの健康の維持増進が必須である。当会では職域の範囲で、健康経営企業宣言や企業におけるＳＵＫＳＫ生活の実践の利用促進を図っており、興味関心の高まりを実感している。
（議長）
健康寿命の延伸のためには、現役世代の頃から習慣として取り組まなければいけないと思うので、引き続き協力を依頼する。

② 基本施策２「疾病の早期発見と重症化予防」の取組予定
【山形大学大学院医学系研究科】
急性心筋梗塞の標準化死亡比（以下、SMR という）という目標と取り組みの関係性に疑問がある。もう少し異なる取り組みが必要ではないか。また、その要因（発症率、治療等）はもっと分析の必要性があり、これらを踏まえて現実的に達成可能な目標値を検討すべきと思う。現状の目標値はハードルが高いのではないか。
（健康増進課長）
このあと協議いただく（２）とともに効果的な取り組みを検討していきたい。
（山形市保健所長）
山形大学第一内科の医師の方より病院到達前の死亡が半数と確認している。発症後、躊躇なく救急車を呼び、病院受診につなげることが重要である。市民に対して、こういったマインドを浸透させていくことで、SMR も徐々に減少していくと想定し、目標設定したものである。今後（２）で詳細を説明させて頂く。
（議長）
市民の皆さんの認識、意識を持って頂くことが非常に重要と考える。

【山形市医師会】
発症からは時間の勝負であり、いかに救急車が早く到着し、可能な限り近い病院に運ぶかという点と、周囲の人が救急車を早く呼ぶことができるよう教育を行っていくことが大切だと思う。
（議長）
ご意見ありがとうございます。

③ 基本施策３「健康寿命の延伸に向けた環境整備」の取組予定

【山形市スポーツ協会】

・「山形市健康ポイント事業ＳＵＫＳＫ」の登録者数について年代別の内訳を教えてほしい。

（健康増進課長）

最も多い年代が、５０代で 22.2%、続いて４０代が 19.6%、６０代 18.7%と働き盛り世代が中心となっている。

【山形市スポーツ協会】

・当会実施のスポーツ事業は高校生の利用が圧倒的に多い。若い年代に健康のことを考えさせるアプローチがもっと必要と思う。それと２４ページにある屋外スケート場は、冬のスポーツの柱として今年度も稼働予定だが、老朽化が進み、いつ稼働できなくなってもおかしくない状況。今後、街中でスケートが行える環境づくりを模索しているので、協力をお願いしたい。また、９月からの中学校における部活動地域移行で、スポーツから離れる学生が増加する懸念もあり、今後はそこも視野に入れた健康づくりの仕組みをお願いしたい。

（健康増進課長）

スマートフォンを使用する事業であり、１８歳以下の若年層をポイント事業に参画させることはできないが、それとは別に親子で一緒に楽しみながら健康づくりに取り組んでいけるような仕組みも考えていきたい。

④ 基本施策４「ライフコースアプローチを踏まえた女性と子どもの健康増進」の取組予定

【山形市 PTA 連合会】

健診の大切さが浸透していないと感じている。子育てや仕事で後回しする方も多く、託児付き・夜間健診など、受診をしやすい環境を整える取り組みが良いと思うので、今後も引き続きよろしくお願いしたい。

【山形市民間立保育園・認定こども園協議会】

５歳児健診と、以降に続く就学時健診は共通する部分や関連する部分が強いと感じている。行政機関としては、各健診を異なる部門で所管している事情はあろうが、部門を超えた横断的な共有等ができる仕組みが必要と思う。

（母子保健課長）

事務局としても同様の認識を持っている。教育委員会や保育園といった部門と連携しながら、引き続き実施していく予定である。

（２）山形市急性心筋梗塞・胃がん対策パッケージについて　【資料５】

資料に基づき事務局から説明。質疑応答は次の通り。

【全国健康保険協会　山形支部】

当会での事業の対象は、７４歳までの方であり、予防の取り組みを実施している。資料中９、１０ページでいえば、重症化予防・禁煙・運動や食事の部分を担っていることから、引き続き、市と連携して取り組みを進めていきたいと思う。

（議長）

ご意見ありがとうございます。

【山形市体育振興会】

スポーツ少年団が減少しており、各校から児童が寄せ集まっている状況。親が大変だから入団させないといった声も届いており、何とか周囲の大人が、子供のスポーツ習慣を考えていく必要があると感じている。

（議長）

もとは教員の働き方改革を発端としているが、よりよい方法を市と教育委員会と協力して模索していく。

４　その他

意見、質疑なし。

５　閉会